

# 会議録

会議の名称	令和6年度第2回藤井寺市環境保全審議会
開催日時	令和7年2月5日（水） 14時00分から14時35分まで
開催場所	藤井寺市役所8階801会議室
出席者	鰯坂委員、高島委員、藤本委員、山田委員、藤井委員、大原委員、南委員、佐藤（代理出席）
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会</li><li>2 資料確認</li><li>3 議題<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 藤井寺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について</li><li>(2) その他</li></ol></li><li>4 閉会</li></ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・次第</li><li>・審議会委員名簿</li><li>・藤井寺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）</li></ul>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 会議の出席委員全員の確認を得ている
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人

## 令和6年度第2回藤井寺市環境保全審議会 議事要旨

日時：令和7年2月5日（水）

14:00～14:35

場所：藤井寺市役所8階801会議室

### 1 開会

### 2 資料確認

### 3 議題

#### （1）藤井寺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について

- 鰯坂会長：全体的に分かりやすくまとまっていると思う。特に、第5章ではコラムもあるので、どんな対策を行っていけば良いかイメージが湧きやすくなっていると思う。
- 山田委員：今後は、区域施策編に基づいて具体的な施策を随時考えていくということか。
- 事務局：今回、区域施策編において、地球温暖化対策に関する市の方向性を示したが、今後は計画で掲げている施策をいかに具現化していくかが市の役割になるとを考えている。
- 鰯坂会長：計画期間はいつまでになるのか。
- 事務局：2030年度までである。
- 鰯坂会長：今後、見直しのタイミングで施策の進捗状況を確認し、環境保全審議会等で審議したうえで、新たな計画を策定していくという認識で良いか。
- 事務局：そのように考えている。今年度は、区域施策編の策定と合わせて、市の事務事業に関する計画である事務事業編の見直しも行っているため、同様に進めていきたいと考えている。
- 鰯坂会長：区域施策編について、施策の進捗状況を確認する担当部署はどのように考えているのか。
- 事務局：環境衛生課が中心となり、関係各課に進捗状況を確認しながら進めていきたい。
- 鰯坂会長：施策の進捗状況として、数値で把握できるものについては関係各課への確認で良いと思うが、市民の意識の変化については、アンケート調査等を行って把握していく必要があると思う。
- 藤井委員：市民、事業者、行政の各主体が一体となって地球温暖化対策に取り組んでいくとあるが、具体的にはどのように進めていくのか。
- 事務局：地球温暖化対策に関しては、行政だけではなく、市民や事業者がそれぞれの分野で取り組んでいくことが重要だと考えている。まずは、市民や事業者の意識を上げ、地球温暖化対策に関する機運を醸成していくため、地球温暖化問題をより身近に感じてもらえるようなトピックや具体的な行動等に関する情報発信をしていきたいと考えている。
- 藤井委員：地球温暖化対策を進めていくうえでは、市民に対してどのように理解を求めるか

が重要である。関心はあるが、市がどのような取組を行っているか知らない市民も多いと思うので、まずは啓発が一番重要だと思う。

鰯坂会長：実際に対策を進めていくにあたっては、国や大阪府、市の方針を周知していくトップダウンのアプローチに加えて、市民が日常的に実施している取組を取り上げて計画に反映していくボトムアップのアプローチも必要である。そのため、PDCAをより具体化したうえで進行管理していくことが今後の課題だと感じている。

藤本副会長：周辺自治体についても同じように取り組んでいるのか。

事務局：柏原市、羽曳野市については、区域施策編はまだ策定していない状況である。

藤本副会長：1人1日当たりのごみ排出量やリサイクル率が課題として挙げられているが、ごみの問題は生活に身近なものとして取り組むきっかけになるのではないか。

鰯坂会長：計画を策定した後、市民に対してどのように提供していくのか。

事務局：ホームページへの掲載を考えている。

鰯坂会長：冊子としては配布しないのか。

事務局：ペーパーレスの観点からも、データでの周知を考えている。

鰯坂会長：小学校への情報提供も重要である。そのため、子ども版を作成するなど、より伝わりやすくする工夫も今後検討していく必要があると思う。

## （2）その他

事務局：今後は、本日の意見を踏まえた素案について、2月12日から3月7日にかけてパブリックコメントを実施する予定としている。パブリックコメントの意見については、事務局で精査を行ったうえで、必要に応じて計画に反映させ、3月中の策定を予定している。

以上